

部長会議

日時：令和3年7月14日（水）

午前9時00分～

場所：市役所4階 庁議室

1 市長の話

新型コロナウイルスについて、まん延防止等重点措置が解除されたが、市としては警戒態勢を継続する。ワクチン接種は順調である。高齢者の1回目接種率は阪神間で三田市に次ぐ82%となっており、高齢者接種は7月末を目途に終わる状況である。これは市民から評価される取り組みだと確信している。これから基礎疾患のある方、福祉従事者、64歳以下の接種を開始する。今はワクチンの量を見極めてから予約を受け付けることで、ワクチンが届かず迷惑をかけないようにする方針である。以上の情報は各部で課員まで伝えてほしい。

令和2年度の決算見込みは、コロナ禍で事業を中止したため黒字になっているが、財務体質が改善したとは言えない。しっかりと事業再検証と決算レビューで議論したい。決算成果報告書については、どの事業も課長と担当者ではなく、課としての問題意識、改善点を上げてもらい、そのうえで部長の評価をしてもらいたい。

課員全員で考え、意思決定に職員が関わることで、職員満足度の改善にもつながる。開庁時間の前後の時間も活用し、協議する時間をつくってほしい。

2 通知及びお知らせ

(1) 令和4年度の政策形成に向けた基本方針について(総合政策部)

大きく4項目あります。

1. 第6次総合計画策定の期間延長

- ・総合計画にあわせてスタートを遅らせる各個別計画についても、新たな計画のイメージを共有するため、準備は早期に行ってください。

2. 実施計画における政策選択の考え方

- ・計画は具体的なスケジュールを示しながら作成してください。
- ・行政のデジタル化についてはICT担当と連携し、積極的に計画をあげてください。
- ・計画段階では精緻な積算は不要ですが、実施段階で大幅な予算の増がないよう、後年度負担や市民への影響について漏れがないよう作成してください。
- ・実施計画についても、効果・方法について市長へのプレゼンを行う予定です。

3. 組織・定数

- ・必要に合わせ人員配置の見直しを行います。
- ・大幅な組織改正は、総合計画に合わせるのが基本ですが、施策推進上必要であれば、

令和4年度から段階的に前倒し実施を検討します。

4. 財政健全化

・財政健全化集中期間は令和3年度末までですが、自然災害やコロナ対応等、予見不可能な事態に対応する財務体力をつけるため、引き続き財政健全化の取り組みを進めていきます。

実施計画・定数についての照会は近日中に行います。8月下旬に市長へのプレゼンを実施し、10月に政策調整会議に諮り、実施方針を示します。

(2) 事業進捗状況の報告について(総合政策部)

6月補正の項目について追加しています。また、進捗度の選択肢について、具体的に何が変わったか示すため、「計画変更」を「時期変更」と「内容変更」に分けて表示しています。

(市長コメント)

封入封緘機導入について、昨年度の職員提案からスタートしている。ぜひ活用してほしい。内部統制の推進について、トライ&エラーしながらしっかり仕組みづくりしてほしい。

(3) 市立川西病院跡地への福祉複合施設整備に関する基本方針の策定について(福祉部)

2040年に高齢者人口が最大になると推測しており、2040年までの変化を見据えて方針を策定します。関係副部長でプロジェクトチームを編成し、その下に検討部会を設置します。スケジュールは令和4年度中の基本方針策定、令和8年度中の福祉複合施設開設に向けて進めていきます。核となる基本方針の策定に向け、各部の協力が不可欠ですので、よろしくをお願いします。

(市長コメント)

医師会、地域医療連携推進法人との連携も必要である。

(副市長コメント)

健康増進部もプロジェクトチームに入ったほうがよい。メンバーは自分の業務範囲にとらわれず、幅広い意見が言えるチームにしてほしい。

(4) コンプライアンス研修の実施について(上下水道局)

近隣市で発生している贈収賄事件を受けて、コンプライアンス意識を高めるため、総務部と合同で技術職を対象に研修を実施します。詳細は後日ガルーンで案内します。

(市長コメント)

契約実務などについても、違法ではないが適当ではない事案がみられる。今まで当たり前に行っていることでも、一度基本に立ちかえって見直してほしい。

(5) 第 5 次川西市環境率先行動計画における紙の削減状況について (市民環境部)

紙の削減目標として、2024年度のコピー機印刷枚数を2019年度比で30%削減する目標を設定しており、4半期ごとに部長会議でお知らせします。

4月から6月の数値を1年に置き換えると、2019年度に比べ42万枚削減される予想ですが、今後も各部署で意識的に枚数削減に取り組むようお願いいたします。

(市長コメント)

例えば資料を早めに作成し、データで事前に送ってもらう部署もある。事前に見ることで時間的にも無駄がなく、ミスに気づき刷りなおすことによる紙の無駄もなくなる。紙削減に向けた具体的な取り組みをしてほしい。

(6) 押印の廃止状況について (総務部)

市長の指示は、認印の原則廃止です。もう一度廃止に向けて検討してください。